

平成 22 年度

広島・福岡・佐賀・大分地区 8 団合同合宿

キャンドルサービス

－ 進行の手引き －

- この冊子は終了後、返却して下さい。
(本の綴じる部分を今後も再利用します。)
- 事前に目を通しておいて下さい。

平成22年度 春季お楽しみ合宿
キャンドルサービス進行表

白井(大分)、帆足(福岡)、和田(福山)、徳永(伊万里)、中村(門司)

【事前準備】			
<input type="checkbox"/> A4半分の「キャンドルサービス」の紙を各班に配布 <input type="checkbox"/> 火の神を、団役員のどなたかをお願いする。 <input type="checkbox"/> クラフトの時間に、キャンドル担当の指導員は集合して打ち合わせ。			
19:30	火の神、神の子 入場 始まりの儀式	司会 朗読 他	白井(大分) 和田(福山) キャンドルの段取り
19:45	・導入	司会 補助	白井(大分) 徳永(伊万里)
19:50	・人数ゲーム	司会 他	白井(大分) ・余って走っている団員が 集まれるように促す ・罰ゲームでの補助
20:10	・みんなで1枚の新聞紙に乗ろう!	司会 他	白井(大分) ・新聞配り、ゴミ集め
20:20	・新聞紙をできるだけ長く切ろう!	司会 他	白井(大分) ・新聞配り、ゴミ集め
20:30	名刺交換	司会	白井(大分) ・終了2分前になったら班にまとまるように促す。 ・他の補助員もそれぞれに動いてまとめる。
20:40	終わりの儀式	司会 朗読 他	白井(大分) 和田(福山) キャンドルの段取り
20:50	終了予定時刻		
21:00	入浴		

今回の企画・進行を参考にして、自分たちが企画・進行を中心的に行えるように頑張ろう!

導入・始まりの儀式 (15分間)

全員がキャンドル一式を持って、そろったことを確認。

司会 それでは、キャンドルサービスを始めましょう。

みなさん目を閉じてください。心を穏やかに…。(曲を開始し、しばらく待つ。)

灯りを落とす

司会 今日も私たちの活動を照らし、見守って下さっていた太陽が、西にゆっくり、静かに沈んでいきました。ここ、秋吉台少年自然の家にも、穏やかな夜が訪れています。

今日、ここに集まったのは、同じ制服を着て、同じ「ちかいとやくそく」を胸に、海洋少年団の活動を行っている仲間たちです。今まで育んできた友情の絆、これからさらに大きくしていくことになる友達の存在。そして、今日、初めて会う人の存在。そんなことを思いながら、心をひとつにして、いつまでも心に残るつどいにしましょう。

しばらく待つ。そしてタイミングを曲に合わせる。

司会 はい、静かに目を開けてください。

火の神、神の子が入場します。

火の神、神の子がゆっくり入場し、定位置につく。

司会 火の神の言葉

火の神 (火の神のアドリブでも構いません。)

「みなさん、こんばんは。今日これまでの活動はどうでしたか？ この合宿では九州北部と福山・尾道の海洋少年団がいっしょになることができました。これは九州北部の団員にとっても、福山・尾道の団員にとっても初めてのことです。新しい友達もさらに増やし、そして今まで友達だった人とはさらに仲良くなるために、どんな笑顔を見せればいいのか、どんな話をすればいいのか、どのようにしていっしょに1つのことをやり遂げることができるか考えてみましょう。

(少し時間を置いてください。)

この時間は、今考えてみたことを実際にやってみる時間です。友達を作りたい、友情を育てたいと考えながら行動することが、これからどれだけ大切なことかを感じて下さい。それでは点火します。」

火の神が中央のキャンドル台に点火。神の子たちも火をもらいます。静まったら…

司会 「この、いつも揺らぎ続ける火は、海洋少年団の活動の中で、人間としての素晴らしい営みを続けるあなたたちの体と心を照らします。この尊い火に対して、海洋少年団の「ちかい」と「やくそく」をささげましょう。

神の子 12 人が、「ちかい」と「やくそく」を順番に言っていく。

言い終わったら、自分の火を消します。

司会 この「ちかい」と「やくそく」は、海洋少年団の活動で何か感じること、何かを得ることができる手がかりになります。
しっかり胸に刻んで活動していきましょう。

では、火の神、神の子の退場です。

曲にあわせて、火の神、神の子がゆっくりと退場。

神の子を班に戻るように指示を出す。戻ったことを確認して…

司会 「それでは、元気に楽しく、仲間との友情を深めて、いっぱい笑顔を見せて楽しい時間にしましょう！」

拍手の導入レク

この導入レクの時に、燭台を会場の危なくないところに移動させて下さい。

3 つのゲームと名刺交換

「ゲームの説明」と書いた紙面がありますので、それを各班に配布して下さい。

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 19:50 | ゲーム1 | |
| | (A) | 人数ゲーム |
| 20:10 | ゲーム2 | |
| | (B 1) | みんなで1枚の新聞紙に乗ろう! |
| 20:20 | ゲーム3 | |
| | (B 2) | 新聞紙をできるだけ長く切ろう! |

ゲーム2、3は時間の都合により、どちらかしかやらない可能性が高い!

- | | |
|---------|--|
| 20:30 | 名刺交換を行います |
| (20:35) | 燭台を、中央に移動させて下さい。 |
| (20:38) | 終わるように促す。
神の子には、最初の待機場所に来るように指示を出す。 |
| 20:40 | 名刺交換終了 |

終わりの儀式 (10分間)

司会 はい、それではここから、また静かに、厳かに・・・。

それでは、再び火の神と神の子たちが入場です。

入場から BGM。 語りが終わるまで継続。

司会 「海を愛し、仲間を愛するみんなが、また再会し、心をひとつにできるように、最後にまた、みんなの真ん中にある燭台に火をつけます。

それでは、火の神様、火をつけて下さい。」

点火が終わったことを確認して・・・ 照明を落とします。

司会 この火に、素晴らしい出会いと楽しい時間を忘れないことを誓いましょう。

最初はひとつだった火は、ひとりひとりの心を照らし、それぞれの心の中で生き続けます。

司会 それでは、最後に、火の神、神の子によって、燭台の火をそっと消してもらいます。お願いします。

消えたのを確認して・・・

それでは、火の神、神の子の退場です。

退場したのを確認して…

司会　これで、火の神、神の子は帰って行きましたが、
今日、この夜の出来事は、みんなの心の中に残り続けます。
これから先、今日友達になった人、これまでも友達だった人と、もっといい
関係になれるように、海洋少年団の活動の中で、みんなの顔を思い浮かべな
がら活動していきましょう。

拍手

ゲームの説明

(A) 何人組、あつまれ！

笛を吹いた数だけの人数が1つのグループになろう！(罰ゲーム含めて20分)

【ルールと注意事項】

- ・ 指導者が吹いた笛の数だけの人数で集まり、集まったら座ります。
- ・ 小さい団員については、手伝ってあげてください。
- ・ 集まることができなかった団員は前に出させて下さい。
罰ゲーム候補者となります。

(罰ゲーム) 食べ物ジェスチャー

封筒の中から引いた食べ物について、誰かが分かるまでジェスチャーします！

【ルールと注意事項】

- ・ 封筒から食べ物が書いている紙を1枚引きます。
- ・ その食べ物について団員がジェスチャーをします。
- ・ ムリそうであれば、別の食べ物を引かせて下さい。
- ・ 調整により、司会の指導員がヒントをあげたりフォローしてもいいです。

(B1) 1枚の新聞紙にどれだけの人に乗れるか？！

1枚の新聞紙の上に、どれだけ乗れるかを競争します！(15分)

【ルールと注意事項】

- ・ 初めは、新聞紙の1ページ分(紙の半分)から始めます。
- ・ 「いっせーの、せ！」で新聞紙に乗り、みんなで「10」数えます。
- ・ 「10」数え終わることができたら、それがその班の結果です。
- ・ 新聞紙がちぎれたら、新しいものを前に取りに来てください。
- ・ ムリなこと、危ないことは絶対ないように！

(B2) 新聞紙をどこまで長くできるか？！

新聞紙をみんなで知恵を出して、どれだけ長くちぎれるかを競争します！(15分)

【ルールと注意事項】

- ・ 最初に1グループに新聞紙を2枚ずつ渡します。
- ・ 制限時間を5分として、グループで考えてできるだけ長くちぎっていきます。
- ・ 1チームが2つの作品を出すことができます。
- ・ ちぎった新聞紙を運ぶ時に切れてもアウトです。大切に！

「ちかい」

1. 海のような広い心で団結し、全ての人を友とします。
2. 体をきたえ心をやしない、りっぱな海の子になります。

「やくそく」

1. 海洋少年団員は、名誉（めいよ）を重（おも）んじます。
2. 海洋少年団員は、誠実（せいじつ）です。
3. 海洋少年団員は、人を助（たす）け親切（しんせつ）です。
4. 海洋少年団員は、礼儀（れいぎ）を正しくします。
5. 海洋少年団員は、進（すす）んで規律（きりつ）を守ります。
6. 海洋少年団員は、約束（やくそく）を守ります。
7. 海洋少年団員は、節約（せつやく）します。
8. 海洋少年団員は、ほがらかで
何事（なにごと）にも積極的（せっきよくてき）です。
9. 海洋少年団員は、清潔整頓（せいけつせいとん）につとめます。
10. 海洋少年団員、は常（つね）に感謝（かんしゃ）を忘れません。